

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公表番号】特表2010-511488(P2010-511488A)

【公表日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2009-522926(P2009-522926)

【国際特許分類】

B 01 D 39/16 (2006.01)

D 04 H 3/16 (2006.01)

【F I】

B 01 D 39/16 A

D 04 H 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月7日(2010.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a)

i) メルトプロウンダイ先端部内の第1及び第2組のオリフィスとそれぞれ流体連通した第1及び第2ダイキャビティを備えるメルトプロウンダイを通って同じポリマー組成物の第1及び第2纖維形成材料を流すステップであって、前記第1纖維形成材料が前記第1ダイキャビティ及び前記第1組のオリフィスを通ってより小さい流速又は粘度で流れて1組のより小さい寸法のフィラメントを形成し、前記第2纖維形成材料が前記第2ダイキャビティ及び前記第2組のオリフィスを通ってより大きい流速又は粘度で流れて1組のより大きい寸法のフィラメントを形成するステップと、

i i) より小さい寸法及びより大きい寸法のフィラメントを混合し、同時にそれらを空気又は他の流体の収束流間で纖維に減衰するステップと、

i i i) 減衰纖維を同じポリマー組成物の混合連続マイクロファイバーとより大きい寸法の纖維のメルトプロウン二峰性質量分率/纖維寸法混合物を含有する不織布ウェブとして集束することにより1成分不織布ウェブを形成するステップと、

b) 前記ウェブを纖維交差の少なくともいくつかの箇所で互いに固着した纖維の自己支持非平面多孔質1成分単層マトリックスに成型し、プリーツ加工し、又は別の方法で成形するステップと、を含む、成形濾過物品を作製する方法。

【請求項2】

前記集束ウェブが、約1～約5μmのマイクロファイバーのモードと約12～約30μmのより大きい寸法の纖維モードで質量分率対μm単位の纖維寸法のヒストグラムを有する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記集束ウェブが、約0.1～約10μmの寸法を有するマイクロファイバーと、約10～約70μmの寸法を有するより大きい寸法の纖維とを含有する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記集束ウェブが、約0.1～約5μmの寸法を有するマイクロファイバーと、約15

~ 約 50 μm の寸法を有するより大きい寸法の纖維とを含有する、請求項 1 に記載の方法。
。